



公益社団法人神奈川県私立幼稚園連合会

第58回教育研究全県大会／設立70周年記念大会開催

未来に向かって 子どもが主役の幼児教育を



INDEX▶▶▶

2~5

公益社団法人神奈川県私立幼稚園連合会

第58回教育研究全県大会／設立70周年記念大会

6・7

研修事業部・研究部活動報告

研修会報告

8

31年度予算要望について

『幼児教育の無償化』のゆくえ

振興部長 石井 和 則

9

経営管理部の人材確保に向けた取り組み

経営管理部長 浅谷 学

11

キャリアアップ研修を終えて 新制度担当特別委員会 委員長 八木 肇

教育相談室 いくつ持っているでしょう?／ケンタガーデン③／ようこそ連合会へ 新規加盟園紹介 東幼稚園

10

平成30年度神奈川県私立幼稚園
父母の会連合会委員総会

12

免許状更新講習の手続きについて 確実にお願ひします 研修事業部長 田中 伸 宜

平成30年度 神奈川県連合会加盟園数・園児数



12:00~
受付



13:00~13:20
オープニング
アトラクション
邦楽演奏



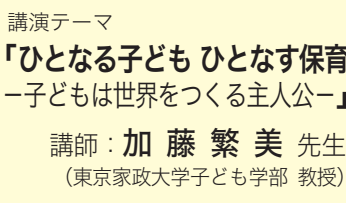
13:35~14:30
開会式・記念式典
開会のことば
国家斉唱
会長あいさつ
表彰状贈呈
来賓祝辞
来賓紹介
祝電披露
幼稚園讃歌斉唱
閉会のことば



「未来に向かって 子どもが主役の幼児教育を」

現代は子どもが主役とは程遠い現実で、子どもは置き去りにされがちである。そんな中で、「将来を担う子ども達が活躍できる幼児教育を」という願いがこのテーマには込められている。テーマ実現のため、質の高い幼児教育が実践できるよう頑張って参りましょう！

14:40~15:00
研究(大会)テーマ
趣旨説明



講演テーマ
「ひとなる子ども ひとなす保育
—子どもは世界をつくる主人公—」
講師：加藤 繁美 先生
(東京家政大学子ども学部 教授)



15:30~17:00
記念講演
17:00~
閉会のことば



18:00~20:00
記念祝賀会
ホテルニューグランド
タワー3F ペリー来航の間



70th
Anniversary
神奈川県私立幼稚園連合会



公益社団法人 神奈川県私立幼稚園連合会

第58回教育研究全県大会／設立70周年記念大会

2018年8月7日(火) 神奈川県民ホール



公益社団法人
神奈川県私立幼稚園連合会

会長 小澤 俊通

に恵まれ、無事に開催することが出来ました。

今年の夏は、連日のように猛暑が続きました。台風の上陸もあり、豪雨も何度となく日本列島を襲いました。そんな異常とも言える気候の中、8月7日の70周年記念大会はどうなるだろうか心配しておりましたが、小雨模様ではあるものの、比較的過ごしやすい気候

前日の準備に続き、当日も午前9時に90名を超える実行委員及びお手伝いの先生方に県民ホールにご集合頂きました。段取りよく準備は進み、12時には受付を開始致しました。県内各地から約1700名の加盟園の設置者・園長・教職員及び関係者の皆様に県民ホールにお集まり頂きました。本当に有り難うございました。

の各務先生へ、特別表彰では県連役員15年以上の17名の先生方へ、それぞれ表彰状をお渡しする事が出来ました。記念大会でなければ、このような機会を設けることが出来ませんので、今までのご苦労とご貢献に少しは報いることが出来たのではないかと思います。

この記念大会は、5年に一度の「教育研究全県大会」も兼ねており、記念講演は加藤繁美東京家政大学教授にお願い致しました。ユーモア溢れる語り口で、新たな保育の視点を示唆して頂きました。引き続き、ホテルニューグランドに移動して祝賀会も開催致しました。参加費を頂く事になっているにも関わらず、約230名の参加を得て、盛大に開催することが出来ました。

一年前から準備を進める中で、アイデアを出し合い、役割を決めながら、一体感を持って無事に終了することが出来ました。企画実施頂いた実行委員会の皆様、準備に奔走された事務局スタッフの皆様、そして大会にご参加頂いた多くの先生方、本当に有り難うございました。

今後とも、神奈川県私立幼稚園連合会は、使命感を持ちながら、次の80周年、90周年、100周年へと歩み続けてまいります。変わらぬご支援をお願いして、御礼のご挨拶と致します。

各担当責任者より記念大会を終えて

総務・式典委員会

苅 込 大

記憶に残る大会となるように

教育研究全県大会は5年に一度、県連設立周年行事は10年に一度となるととても大切な大会ですので、ご来場くださる皆様にとって有意義で記念になる大会となるよう、1年程前から協議を重ねてまいりました。

初めに、委員会と担当部室を決め、式典委員会は総務部、研究大会委員会は研究・研修事業部、会場・ブース委員会は経営部、レセプション委員会は振興部、記念誌委員会は広報室が担当することになり、それぞれの部で内容を検討していただきました。

総務部では主に式典を担当し、当日の構成として、開催時間は午後1時から5時をめぐとすること、又、アトラクションの候補として、洗足学園のオーケストラ、歌のお兄さん、バレエダンサーの熊川哲也様等いろいろな意見が出された中で、邦楽の演奏をお願いすることになりました。邦楽を身近に感じている先生は少ないと思います。が、皆様の心に少しでも残っていたらと思うのと、費用等様々な面を考慮して決めさせていただきました。

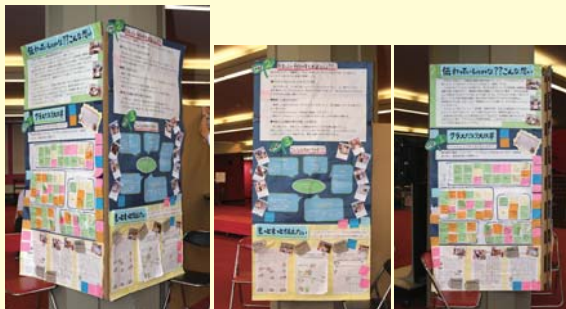
当日は、各委員会皆様のご尽力により滞りなく準備は整いましたが、オープニング前から開会式・記念式典が終わるまでの間は、舞台進行係は非常に慌ただしい時間となりました。来賓の方の出欠席変更による座席の変更や来賓紹介の名簿の入れ替え、

ポスター展示

鴨居幼稚園 (横須賀協会)
「取り組み方の変容は、行事を園の文化にした。」



西鎌倉幼稚園 (鎌倉協会)
「伝わっているのかな?こんな想い」
～クラスだより大改革 生いたちの記(ポートフォリオの始まり)～



かぐのみ幼稚園 (逗葉協会)
「子どもを真ん中にした幼稚園作り」



ノベルティグッズ

県連設立70周年の記念ロゴを作成し、ロゴをモチーフにしたトートバッグ・クリアファイル・扇子を制作いたしました。
大会当日、参加者の皆様に資料と一緒にお配りいたしました。



ブース出展一覧

たくさんの協賛企業が出展してくださり、皆さん興味津々でした。

- ・エンゼルフーズ株式会社
- ・株式会社ジャクエツ
- ・株式会社スパインラボ
- ・千株式会社
- ・株式会社チャイルド本社
- ・ひかりのくに株式会社横浜営業所
- ・株式会社フォトクリエイト
- ・株式会社フレーベル館
- ・株式会社分子生理化学研究所
- ・株式会社安田物産
- ・株式会社矢部プロカッティング
- ・理想化学工業株式会社 理想横浜支社
- ・レタリア株式会社
- ・株式会社ワールドライブラリー

〔50音順〕



大会参加園数・参加人数

協会名	園数	参加人数
公益社団法人横浜市幼稚園協会	93	366
公益社団法人川崎市幼稚園協会	39	231
横須賀市私立幼稚園協会	17	94
特定非営利活動法人藤沢市私立幼稚園協会	17	95
鎌倉私立幼稚園協会	18	121
茅ヶ崎市私立幼稚園協会	14	59
湘央地区私立幼稚園協会	31	172
小田原私立幼稚園協会	12	54
相和私立幼稚園協会	18	149
一般社団法人相模原市幼稚園・認定こども園協会	26	113
逗葉私立幼稚園協会	5	34
厚木地区私立幼稚園協会	16	81
計	306	1,569

記念式典の時間が伸びたことによるタイムスケジュールの調整等、右往左往してしまいましたが、何とか無事に会を終えることができ、安堵致しました。

舞台進行で、何かと不手際がありました。が、無事に開催出来ましたのも、事務局をはじめ、90名を超える実行委員及びお手伝いの先生方のご協力によるものです。本当にありがとうございます。衷心より感謝申し上げますと共に、今後も県連の活動・事業に、ご理解とご協力のほど宜しくお願い申し上げます。

研究大会委員会

田中伸宜

全県大会において、研究部・研修事業部として、研究(大会)テーマの趣旨説明と記念講演を担当させていただきました。「未来に向かって 子どもが主役の幼児教育を」(公社)神奈川県私立幼稚園連合会の研究部・研修事業部が設定したテーマです。

「幼児教育の質の向上を」と言われていきます。幼児教育の大切さは、「三つ子の魂 百まで」の言葉で表されるように、昔から引き継がれている永遠のテーマだと思います。しかし、近年、超少子高齢化への対応、人口減に伴う労働力確保の観点から、政府・行政は、幼児教育の質を高めることよりも、子ども達を預かる受け皿の整備に躍起になっていると思います。これは本来の幼児教育の目的とは逆行しているのではないかと、子

ども達の未来のことは置き去りにされているのではないかと個人的に危惧しております。

そんな社会において、我々、幼児教育の現場の者としては、どのように社会情勢が変化しようとも、今の子ども達がすくすくと育ち、未来の日本の社会を担う存在としてよりよく生きていつて欲しいという願いのもとに、テーマを設定しました。

「未来に向かって 子どもが主役の幼児教育を」どうか、このテーマ設定の趣旨を汲み取り理解していただき、今後の保育や研究に取り組んでいただきたいと思います。

記念講演では、「ひととなる子ども ひとなす保育」子どもは世界をつくる主人公」と題して東京家政大学子ども学部教授の加藤繁美先生のレクチャーを受けました。裏方として研究部・研修事業部がテーマや講演などを設定した大会のトータルのコーディネートはいかがでしたでしょうか?

祝賀会委員会

石井和則

県民ホールで行われた第58回教育研究全県大会／設立70周年記念大会を無事終え、
「欧州ホテル」という原点を、21世紀にふさわしいクオリティーで再現し、歴史と伝統を継承しながらヨコハマのリーディングホテルとしての位置付けを保つこと開業90周年を迎える、格式のあるホテル・ニューグランド3階にある「ペリー来航の間」に会場を移し、約230名の参加者のもと記念祝賀会が開催されました。

ペリー来航以来、開国の契機となった港

を眼下に見下ろす最高のロケーションの中、振興部・仁藤一成次長の司会進行により予定通り18時よりスタートいたしました。開会の言葉を当連合会・森本恵美副会長よりいただいた後、小澤俊通会長より歓迎とお礼の挨拶がありました。公私共にご多用の中を多くのご来賓の皆様にご臨席賜り、国

会議員を代表して参議院議員・島村大様、神奈川県議会議員・桐生秀昭様、神奈川県福祉子どもみらい局局长・香川智佳子様、全日本私立幼稚園連合会副会長・尾上正史様、同じく副会長・四ツ釜雅彦様よりそれぞれ祝辞を頂戴いたしました。

さて、いよいよ乾杯ということで当連合会顧問の渡邊眞一よりご挨拶と乾杯のご発声をしていただきました。その後しばしのご歓談となりましたが、急遽ここで少しお時間をいただき神奈川県私立中学高等学校協会・工藤誠一理事長と横浜女子短期大学・平野健次学長にそれぞれご挨拶をいただきました。本来でしたらご来賓の皆様お一人お一人より祝辞を頂戴したいところですが、時間の関係でお名前のみのご紹介とさせていただきます。

ご歓談中はとても和やかな雰囲気の中、アトラクション的なものはなかったものの多くの方との意見交換の場として大変有意義な祝賀会となりました。あつという間に中締め時間となり、当連合会副会長・池田清より中締めのご挨拶の後一本締めにて閉会となりました。ご臨席いただきました多くのご来賓の皆様、そして当連合会関係諸団体の皆様のご支援ご協力のもと無事盛況な祝賀会となりましたことを心より深く感謝申し上げます。

特別支援教育研修会

- 第1回 5／9（水）「気になる子をどう育てるか」
- 第2回 6／20（水）「不適切な言動の見立てと支援の方向性」
- 第3回 9／19（水）「気になる子を含むクラス運営のポイントと、集団における支援の基本」
- 第4回 11／21（水）「集団の場での子どもが求める具体的対応①ー環境刺激回避の3本柱ー」
- 第5回 12／19（水）「集団の場での子どもが求める具体的対応②ー発達特性をふまえた臨機応変な対応」
- 講師 上原 芳枝 先生（特定非営利活動法人発達支援機関リソースセンターOne代表理事 臨床発達心理士）

「心の核」を育てる支援

上原芳枝先生による特別支援教育研修会の全5回のうちの2回が既に開催されました。思い通りにいかないと暴言を吐く、手が出るなど、事情のある子どもの対応に追われ、悩み疲弊している保育者は多いのではないのでしょうか。上原先生は、子どもの不適切な言動の原因は、微妙な脳機能のア

中堅教諭対象講習会

横浜美術館子どものアトリエ研修

- 開催日 5／16・6／20・9／19
- 出張研修 10／31（小田原）・11／14（大和）
- 講師 山崎 優 先生（横浜美術館教育普及グループ主席エデュケーター）

■第1回 5／16（水）

「造形と工作」ー年少時の活動を中心にー
「子どもの手元をよく見よう！」

紙に慣れる・はさみに慣れる」
第1回目は、年少児の活動を中心に、テーマは紙とはさみを使った造形・工作です。「手を動かす活動は意思や知に働きかける優れた活動であり、生活の中で手を使うことが少なくなってきた現代では、子どもたちの手の育ちを意識的にサポートする必要があります。子どもの成長に合わせた指導法を研修します。」と山崎先生からメッセージをいただきました。

第一に子どもの手が動くことが大切で、



ていく様子は、保育の現場さながらです。各園での自らのクラスや学年だけでなく、年少ー中ー長へと子どもの育ちを養っていく、園としての仕組み作りが大切であることも心に留めた研修でした。

（研修事業部 三浦深雪）

■第2回 6／20（水）

「造形と工作」ー年中時の活動を中心にー
第2回は、年中のハサミを使った活動を紹介してくださいました。

山崎先生より「ハサミは子どもが自分で使う道具の中で一番危険です。したがって、初めは活動のたびに『ハサミは危ない』と

いうことを繰り返して指導する必要があります。そして、ハサミは切らないときは置いておくことをきちんと子どもに伝えておきましょう。」とお話があり、年中のハサミの活動として、連続切りができること」を目標に活動を行いました。紙を好きなように自由に切るというのは年中では少し難易度が高いので、ハサミとホチキスを使った活動を2つ教えていただきました。

●色々な色のケント紙を細く切って、ホチキスでつなげて遊ぶ活動

●白のクレヨンで画用紙を塗り、絵の具で色を付ける。色を付けた後は、しっかりと乾かし自分オリジナルの紙を作る。その後、ハサミで切り、切った紙をホチキスでつなげて、好きな形をつくる遊び

（研修事業部 古木大悟）

研修会報告		研究部主催	研修事業部主催
6月6日（水）	新規採用教員研修会	かながわようちえん会館 144名	
「保育者の役割ー新人に求められるものー」			
聖徳大学 教授 塩 美佐枝 先生			
6月20日（水）	中堅教諭対象講習会	横浜美術館子どものアトリエ 65名	
「造形と工作」(年中児の活動を中心に)			
横浜美術館教育普及グループ 主席エデュケーター 山崎 優 先生			
6月20日（水）	特別支援教育研修会兼10年経験者研修会	かながわようちえん会館 84名	
「不適切な言動の見立てと支援の方向性」 演習:要因の想定			
特定非営利活動法人発達支援機関 リソースセンターone代表理事 臨床発達心理士 上原 芳枝 先生			
6月26日（水）	若手後継者のための保育勉強会	かながわようちえん会館 42名	
「3法令の改訂を各園で実現するまでのプロセスと課題」			
講師：玉川大学 准教授、東一の江幼稚園 園長 田澤 里喜 先生			
コーディネーター：玉川大学 教授、四季の森幼稚園 園長 若月 芳浩 先生			
7月4日（水）	新規採用教員研修会	かながわようちえん会館 119名	
「造形で保育は変わる」 十文字学園女子大学 名誉教授 平田 智久 先生			
8月2日（木）・3日（金）	教員免許状更新講習	鶴見大学 113名	
「教育の最新事情」			
鶴見大学短期大学部 教授 山室 吉孝 先生／鶴見大学短期大学部 准教授 橋本 弘道 先生			
8月9日（木）	新規採用教員研修会	鶴見大学	
音楽「保育者としての表現力・創造力（声、身体、音媒体、楽器を使って）～音を聴く、音で遊ぶ、音を作る、音で表現する～」 44名			
小田原短期大学 講師 望月 たけ美 先生			
絵本「子どもと仲良くなる方法ー保育に活かす言語表現教材ー」 47名			
鶴見大学短期大学部 教授 松本 和美 先生			
自然「先生の視点が重要な子どもの自然遊び」 40名			
東京家政大学 教授 佐藤 英文 先生			
運動遊び「楽しい運動遊びの工夫」 46名			
静岡県立大学短期大学部 教授 朴 淳香 先生			
8月10日（金）	新規採用教員研修会	鶴見大学 184名	
「新任保育者の幼児理解をスキルアップ」～子どもの夢中な遊びコレクション編～			
鎌倉女子大学 教授 小泉 裕子 先生			
「新任教員にこそ求めたいもの～保育者の専門性～」			
小田原短期大学 准教授 野津 直樹 先生			
8月23日（木）・24日（金）	キャリアアップ研修	かながわようちえん会館 97名	
園内における危機管理・事故防止と健康管理			
子ども安全計画研究所 代表理事／東京都市大学客員 教授 猪熊 弘子 先生			
リーダーシップ			
相模女子大学 教授／認定こども園相模女子大学幼稚部 園長 齋藤 正典 先生			
8月30日（水）	男性保育者勉強会	かながわようちえん会館 40名（予定）	
園内研修リーダーになるう			
子どもと保育総合研究所所員、東洋大学ライフデザイン学部非常勤講師 相馬 靖明 先生			



話しかったです。他の事情とは、席に座っていれば活動に参加できることが分かっている座っているという状況があることです。たとえば人の視線、他者、他者から発せられる言葉などさまざまな情報の処理の負担が大きく、情報処理困難に起因して圧力がかかり、過緊張状態になるゆえにできない事情があることを学びました。その事情を知らずして注意、励ますなどして対応することは子どもに負の圧力をかけることです。それより不適切な言動が起こる設定をしないことが大事であるとお話いただきました。

先生は、脳機能を踏まえた要因例を膨大

若手後継者のための保育勉強会

- 開催日 5／9・6／26・9／9・10／11・20・2／19
- 講師・コーディネーター 若月 芳浩 先生（四季の森幼稚園園長・玉川大学教授）

「これからの幼児教育を支えるために」

3法令が改訂され、平成30年度より新しい幼稚園教育要領、幼保連携型認定こども園教育・保育要領が実施されました。この勉強会は既に7年目に入りました。毎回、若月先生をコーディネーターにお迎えし、今日の課題を先生に助言をいただきながら進めています。

年度の始まりには、3法令の改訂の重要なポイントと保育の実践に取り組む必要性を、後継者としてこれからどう取り組み、園としての方向性、更に保育者がやり甲斐を持つて働くための園環境など、園全体の力を高め、子どもにとって必要な教育・保育の方向性を具体的に探っていく事を学びました。外部の講師を迎えての時間も設けていま

す。今年度1回目のゲストは、東京都江戸川区・東一の江幼稚園園長／玉川大学准教授の田澤里喜先生をゲストにお迎えし、先

関東地区教員研修千葉大会



- 開催日 8／21・22
- 神奈川県担当フォーラム7
- 外部ゲスト 佐藤 康富 先生（鎌倉女子大学短期大学部 初等教育学科長 教授）
- 内部ゲスト 佐伯 妙有 先生（伊勢原ひかり幼稚園園長）
- コーディネーター 久富多賀子 先生（岩崎学園附属幼稚園園長）
- 問題提起者 高田 佳奈 先生（認定こども園峯岡幼稚園教諭）
- 一色 里絵 先生（平和学園幼稚園教諭）

認定こども園峯岡幼稚園の問題提起は「遊びの継続を促すための保育者の役割とは」という声から始まった「おぼけめいろ」づくり。途中、行事などで中断されながらも、その活動は引き続いていきました。その中

での保育者と子どもたちの対話、子ども同士の対話、子どもがモノに向き合っていく姿などを事例発表としてとりあげました。平和学園幼稚園の問題提起は「対話を通しての子どもの育ち」年中から年長へ」についてでした。平和学園幼稚園では一人ひとりの子どもが自立へ向かうために、園生活を子どもたちがつくっていくことを大切にしています。そのためにサー

な実践数と研究結果からご提示くださり、本来なら努力なしで備わる力が他の子どもよりゆつくりであり、幼児期は特にその差が顕著でありつつも、安心感のもと「心の核」を育てる大切な時期であるため、不適切な対応で心の問題を引き起こして状況を悪化させてはいけないというスタンスでお話いただきました。

（研修事業部 水越美果）



代より引き継がれたこれまでの文化と、これから見据えた幼児教育の重要性を考えながら、積極的に園の改革を行い、日々格闘されている様子を伺いました。園の改革をどのようにすすめられているのか、またなぜその改革は必要なのか、そのプロセスを伺い、これからの園作りについて考えて参りました。

秋には、静岡県富士宮市にある野中こども園の施設見学と勉強会を実施します。新しい魅力的な園舎で大地保育を理念として新たな方向性で保育の質的な向上に向けて地域を巻き込みながら実践しています。

これからの幼児教育を担う後継者として、ますます学び、自園の保育の質の向上に繋がっていく内容の勉強会にしたいと考えております。

（研究部 後藤光葉）

「主体的・対話的で深い学びの実現」クル」という話し合う時間を年少児から取り入れています。その「サークル」を重ねていく中で、子どもたちが育っていく姿を事例発表としてとりあげました。

どちらの園も、子どもたちとの対話を大切にしながらも、うまくいっていることばかりではなく、うまくいかなかったことや反省していかなくてはならないことも語っていただいたので、午後のグループ討議は大変に盛り上がりました。会場の参加者の声としては、「自分の園では子どもと話し合っても、一部の子どもとしか盛り上がりず、話し合いに参加していない子もいる」「話し合いを聞いているようで、聞いていない子がいる」「人の話を聞かない子がいる」など、話し合っているけれど話し合いの質はどうなのだろうか？ということについての声が多くあがりました。

最後に佐藤康富先生からは、「友だちの良さ、それぞれの良さを互いに認め合っていくことが話し合いの大切さだ。」という言葉を読んだとき、質の高い話し合いができるための場づくりは、いきなり出来上がるものではなく、安心して自分を表現できる場を低年齢児から積み重ねていくことが大切であることを学びました。

（文責・久富多賀子）



経営管理部の
人材確保
に向けた取り組み

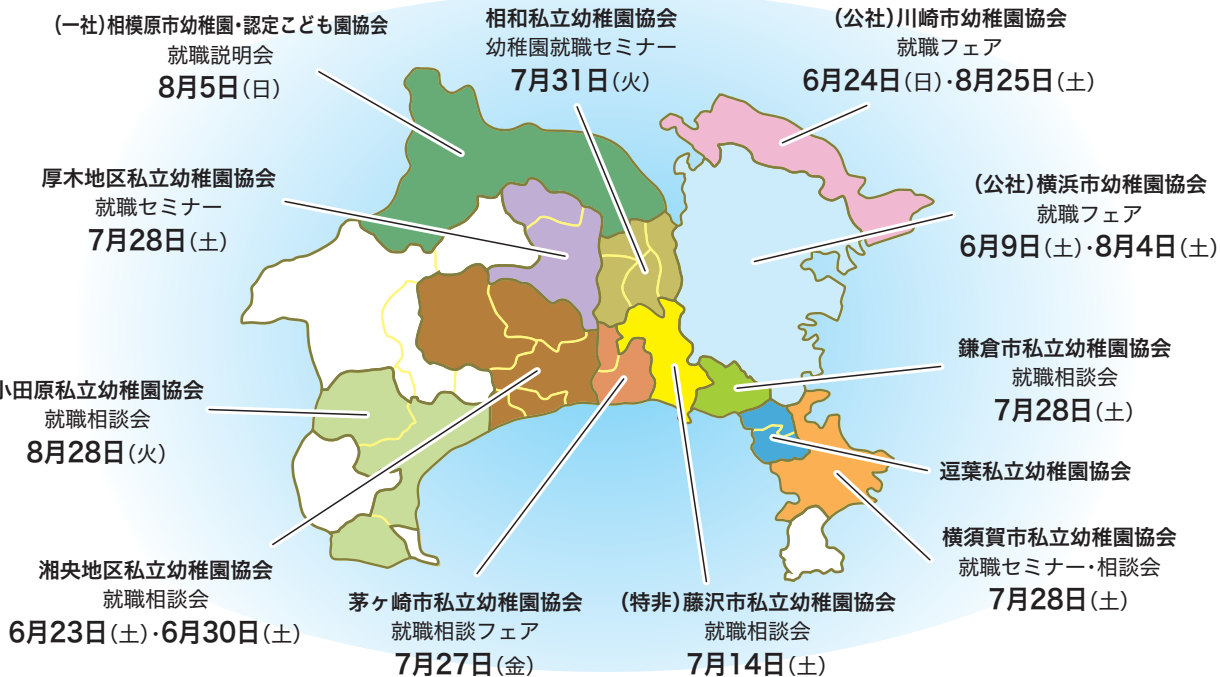
経営管理部長 浅谷 学

中学生向け職業体験リーフレットの配付
中学生の職業体験を受け入れている園も少なくないとい
います。職業体験と前後の学習が幼稚園教諭を目指すきつ
かけとなるよう、幼稚園の先生になるための方法や仕事内
容等をわかりやすく紹介したリーフレットを作成し、各園
から地域の中学校に配付していただきました。

既卒者・新卒者向け就職セミナーの開催
おかげさまで県の幼稚園教員復帰等支援事業を受託でき
たため、はじめに幼稚園教諭を目指す既卒者・新卒者の方
々の不安や疑問を取り除き、ミスマッチを防ぐための相談会
を2か所で開催しました。1回目は7月28日(土)に鎌倉市
の鎌倉芸術館にて、2回目は8月28日(火)に小田原市のお
だわら市民交流センターUMECOにて開催し、小田原会
場では就職支援研修会「社会人としてのビジネス・マナー
講座」も行いました。今後は両地区での現場見学会が予定
されており、ご協力いただきました鎌倉協会と小田原協会
の皆様にご礼申し上げます。

「子どもたちが大好き!!」の養成機関への送付と学生への周知
これまでの県連による就職相談会で参加者に配付してい
たパンフレット「子どもたちが大好き!!」を2冊構成に変
更し、はじめに県内各協会の学生向け就職相談会を網羅し
たパンフレット(B5/14ページ)とリーフレット(A4
/片面)を作成して養成機関に送付し、学生への周知と参
加促進を図りました。次に、私立幼稚園教諭になると得ら
れる社会的な身分保障や就職後のフォローアップ体制等を
解説したパンフレット(A3/両面)を作成し、同様に養
成機関に送付のうえ学生への周知と私立幼稚園への就労意
識の高揚を図りました。

地区協会就職相談会開催日程



31年度予算要望について『幼児教育の無償化』のゆくえ

振興部長 石井 和 則

平成29年12月に、政府は『新しい経済政策パッケージ』を閣議決定し、平成31年10月に予定されている消費税率10%引き上げを前提に「幼児教育の無償化」を実施する方針が示されました。これは、①保護者負担の大幅な軽減により豊かな家庭環境づくり、②少子化対策、③幼児教育の更なる質の向上など資するものとして期待されております。

しかし、今回の無償化の施策に当たっては「幼児教育の無償化」に加えて、「保育の無償化」も対象となったことにより、保育ニーズの不要な増大を招くのではと危惧されています。あくまでも子どもの幸せな育ちを願い、その最善の利益を目的とした制度設計と運用が図られるべきであり、様々な子ども・保護者のニーズに対して公平性・透明性のある制度となるよう注意深く見守っていく必要があります。

『子ども・子育て支援新制度』は今年で4年目を迎えましたが、この制度は国の制度でありながら、市町村に運営が委ねられているため、利用者負担額の設定をはじめ公定価格の加算措置などで対応が違うなど様々な市町村格差が生じています。また、利用調整や事務量の増大、処遇改善Ⅱ「キャリアアップ研修」受講の義務化などの課題も出てきています。人口の減少、少子化、待機児童対策、母親の就労希望の増大など社会構造の変化に伴い、多様な教育・保育のニーズに対して柔軟に対応していくために、「預かり保育」「2歳児の受け入れ」など今後幼稚園の果たす役割は益々大きくなっていくものと考えます。

さて、今年も県連合会小澤会長をはじめ退職基金財団大澤理事長、そして関係諸役の先生方同行のもと7月17日自民党、立憲民主党・民権クラブ、27日かながわ国民民主党・無所属クラブ、30日公明党、県政会そして8月30日に福祉子どもみらい局とそれぞれ予算要望書を提出して来ましたが、要望内容は右記の通りとなっていますが、経常費補助金(一般補助)について、今年度も園児一人当たり単価前年度対比5,617円の増額となりましたが、さらに国の基準単価に近づけていただけるよう強く要望しました。特別支援教育費補助、預かり保育推進費、地域開放推進費などに関しても引き続き増額を要望しました。

また年々人材確保の困難な状況になっていることから、人材確保を図るために既卒者・新卒者を対象とした「就職セミナー」開催の支援を要望しました。さらに新規として、重度のアレルギー疾患のある在園児に対する加算や預かり保育を利用する特別支援を要する子どもへの加算措置の検討を要望しました。また新制度移行園には公定価格で処遇改善がなされ、私学助成園との待遇の格差が増大していることから、早急な処遇改善の実施検討を要望しました。なお緊急環境整備費(事業費上限200万円)についても確実に助成金が受けられるように要望しました。教育の質の向上や処遇改善が要求されている中、第1種教員免許所持者への加算についても要望しました。併せて新制度園への支援ということで、①キャリアアップ研修会の充実、②2号・3号子どもの利用調整の改善、③市町村間での対応の格差は正などについて現況を把握検討していただけるよう要望しました。

以上のような多岐にわたる要望をさせていただきましたが、今後も様々な問題点に対し国・県そして行政に積極的かつ迅速に働きかけていきます。



平成31年度神奈川県予算に対する要望内容

- 1 経常費補助金(一般補助)の充実**
 - ◇園児一人当たりの補助額は国の基準単価を2万円弱下回っている。私学助成を受ける幼稚園にとって教育の質の向上、安定的な人材確保、教職員の処遇改善につながるものであり、国の基準単価に近づける更なる増額。
 - ◇第1種教員免許保持者への加算と、退職後に再就職した教員の職歴を通算年数として認める加算要件の導入。
 - ◇学校法人立以外の園に対する運営費補助金。
- 2 経常費補助金(特別補助)の充実**
 - ①特別支援教育補助**
 - ◇対象児1名から784,000円の補助。
 - ◇重度のアレルギー疾患の園児に対する加算。
 - ◇補助金の支給基準日を5月1日に限定せず、満3歳児の年度途中での受け入れにも対応できる基準日の増設。
 - ②預かり保育推進費**
 - ◇待機児童対策に大きな役割を果たしている預かり保育への補助金の増額。
 - ◇預かり保育を利用する「特別支援を必要とする子ども」への加算。
 - ③地域開放推進費**
 - ◇地域社会のコミュニティにおける子育て拠点となっている幼稚園への地域開放推進費の充実。
 - ◇学校法人立以外の園にも補助制度の創設。
- 3 私学助成園に勤務する教職員への処遇改善**
 - ◇国の財政措置もあり処遇改善を実施する道府県が増えている。在職10年以上のベテラン職員への加算額の増額拡充、5年以上の中堅職員に対する加算。
- 4 緊急環境整備費補助金の充実**
 - ◇学校法人立幼稚園への補助率(現在は3分の1)を認定こども園と同様の2分の1への増額。また、園舎建物に付随するものの修繕にも利用できる補助への充実・見直し。
- 5 人材確保への支援**
 - ◇県内各地域のニーズに対応して既卒者と新卒者を対象とした就職セミナーを実施できる人材確保支援策の継続。
 - ◇就労支援補助金や家賃補助など、幼稚園教諭への就職に際してのインセンティブの充実。
 - ◇保育士等修学資金貸付制度は預かり保育を実施する幼稚園への就職者にも適用されることを、県や市町村の案内資料への明記。
- 6 子ども・子育て新制度への支援**
 - ①キャリアアップ研修の充実**
 - ◇県連合会や県内各協会が実施する研修をキャリアアップ研修として認定。また、過去の研修受講時間数や研修ハンドブックによる研修履歴をキャリアアップ研修の実績と認める。
 - ②認定こども園の2号、3号こどもの利用調整の改善**
 - ◇利用調整に園長の裁量を反映できるよう、事前に市町村と相談協議できる場の創設。
 - ③市町村の取り組みへの支援**
 - ◇市町村間で保護者の負担に不公平が生じない県による広域的な支援。就園奨励費補助金が出ていない市町村への県からの働きかけ。



©ピグ錠



開催日 8月23～24日
講師 猪熊弘子先生（子ども安全計画研究所代表理事／東京都市大学客員教授）
齋藤正典先生（相模女子大学教授／認定こども園相模女子大学幼稚園園長）

処遇改善Ⅱの支給者を対象としたキャリアアップ研修が、8月23～24日の両日に渡り行われ97名の先生方が参加されました。この研修の受講申込みは、インターネットによる受付システムで行い、加盟園・未加盟園とも有料であったにも拘らず、研修定員100名を3日間で締め切る等、盛況でありました。

29年度末実施を目標に、特別委員会として実施計画を作成し検討を重ねてまいりましたが、国（文科省）から研修時間数等が明確に示されておらず、県子どもみらい部次世代育成課とも連絡を重ねたものの、29年度実施はできませんでした。

現時点でも明確な指示はありませんが、保育施設の研修等考慮し、委員会の実施計画どおりに23日にこども安全計画研究所代

表理事・猪熊ひろ子講師による「園内における危機管理・事故防止と健康安全管理」、24日には相模女子大学学芸学部教授・認定こども園相模女子大学幼稚園園長・齋藤正典講師による「教育保育施設におけるリーダーシップ」をテーマとし、今年度実施でき、「子ども一人ひとりに寄り添う保育が施設の安全につながる事や同僚性を支えるコミュニケーション」が再認識されるマネジメント分野の研修となりました。

研修受講歴として全日本私立幼稚園幼児教育研究機構の研修スタンプが発行されると共に、今後の研修内容を検討目的としたアンケートを作成し、全員から提出していただきました。研修のまとめとして、県子どもみらい部次世代育成課・上村良彦副課長の挨拶で無事終了いたしました。



平成30年度神奈川県私立幼稚園父母の会連合会委員総会

去る6月14日（木）、かながわようちえん会館に県内各地より70名を超える委員が集い、平成30年度神奈川県私立幼稚園父母の会連合会委員総会が、盛大に開催されました。

当日は当会の山根マキ副会長の挨拶に始まり、神奈川県私立幼稚園連合会会長・小澤俊通、そして齋藤希絵会長よりの挨拶の後、本年度の事業計画並びに予算について審議。恙なく承認されました。

続いて当日ご参加の父母の会委員の皆様からの常任委員の選出へと議題が移り、和やかな雰囲気の中、昨年度に続き再任を快諾下さった方、また積極的に立候補下さった方を含む、総勢9名の責任感に

子ども達の幸福を願って

神奈川県私立幼稚園父母の会連合会会長

齋藤希絵（津田山幼稚園）



日差しにはまだ夏の名残もありますが、日の長さもずいぶん短くなつてまいりました。先生方におかれましては、秋の行事に向けた準備等でお忙しい時期かと存じますが、各園の園長先生方をはじめ、教職員の皆様、関係者の方々には、日頃より子ども達と真摯に向き合い、幼児教育の向上にご尽力いただいておりますことに感謝申し上げます。

昨年度に引き続き、今年度も神奈川県私立幼稚園父母の会連合会の会長を務めさせていただくことになりました、齋藤希絵です。公益社団法人神奈川県私立幼稚園連合会への加盟園数は586園、園児数は10万人を超えており、東京に次いで、2番目の規模の団体であります。その大きな団体の父母の会の会長でござい

り両副会長を筆頭に、今年度も各地域で活躍して下さっている常任委員の皆様と力を合わせて、先生方にご指導いただきながら、皆様のお役に立てるよう職責を果たしたいと思っております。

昨年度の全日本私立幼稚園PTA連合会全国大会にて、安倍晋三総理大臣が「幼児教育への無償化に向けての取り組みを加速させていく」と話され、動きが急速に進み、来年度より無償化が始まろうとしております。これは、長年にわたり、無償化への活動をして下さっている先生方をはじめ、全国各地で活動・ご協力してくださっていた保護者の皆様の功績であります。とはいえ、財源の問題や、全ての子ども達に質の高い幼児教育を保障することを目指すためのものでありま

満ちた新常任委員が選出され、満場一致にて承認されました。今期2期目となる齋藤希絵会長の下、新任6名を含む9名の新年度常任委員を中心に、私共もお力添えしつづき年間活動を重ねて参ります。早速来る11月13日（火）に、パシフィコ横浜にて開催する研修大会の企画について常任委員一丸となり取組んで参ります。是非とも皆様のご協力をお願い致します。

また同時に退任された6名の前常任委員の多大なるご活躍について、ここに皆様へ謹んで報告申し上げますと共に、心より敬意を表したいと思います。

（総務部長 鈴木豊司）

ですので、教育の質の向上等、引き続き取り組んでいく課題は山積みであります。父母の会連合会では、子ども達の幸福を願い、父母自身の意識を高めるために研修大会の開催も致しております。また、保護者を代表して、子ども・子育てに関する関係各所との懸け橋となり、子ども達が輝き続けられるよう、皆様と共に活動してまいりたいと思っております。

平成30年度 父母連常任委員名簿

役職	氏名	園名（協会）
会長	齋藤希絵	津田山幼稚園（川崎）
副会長	荒井多恵子	潮田幼稚園（横浜）
副会長	ジリリさおり	樽町白梅幼稚園（横浜）
庶務	橋本志乃	津久井幼稚園（横須賀）
庶務	佐々しのぶ	清心幼稚園（相模原）
会計	小島恵美子	上星川幼稚園（横浜）
委員	佐藤和	川崎青葉幼稚園（川崎）
委員	平野典子	聖マルコ幼稚園（藤沢）
監事	澤村珠加	横浜学院幼稚園（横浜）

教育相談室



教育相談員
鈴木敦子先生
（臨床発達心理士）

いくつ持って
いるでしょう？

対応の難しい年少男児です。プレクラスでも「年少で同じクラスにしないでほしい」とのリクエストが他児の保護者からあったそうです。この男児は他児をたいてしまします。やりたいことの邪魔が入ったと思つて。ホールで遊ぶ時、この男児は汗をかきながらグルグルとひたすら走っています。さぞや気持ちの発散ができたかと思うとそうでもなく、相変わらずトラブルを起こします。担任教諭は「君は楽しくて走り回っているわけではないのよね」と言います。そう、素敵な先生ですね。感じ取ってらっしゃいます。ホールの大きな空間が刺激となつてオーバーヒート状態になり、自分では止まらないのです。どういう目で子どもをみるか。私としては3対計6個くらいの目を持っていてもらいたいです。

相談の申し込み

電話・ホームページから事務局へ申し込みください。

電話番号

045-440-3210

ホームページ

<http://www.shinshiyou.com>

Welcome 新規加盟園紹介

公益社団法人横浜市幼稚園協会

東幼稚園

〒226-0003 横浜市緑区鴨居3-13-6
TEL 045-931-2795 FAX 045-935-1794

【設置者名】岩岡 進

【園長】岩岡 進

【創立年月】昭和41年12月



免許状更新講習の
手続きについて
確実にお願いします

研修事業部長 田中伸宜

8月2～3日の両日鶴見大学の全面的なバックアップのもと免許状更新講習(必修・選択必修)を終えることができました。スタッフの皆さんにおかれましては猛暑の中2日間、免許状更新講習の為に骨折りました心より御礼申し上げます。ありがとうございました。また受講していただいた先生方大変お疲れ様でした。更新講習を終えた先生方、右表の通り、手続きを確実にお願いいたします。

2009年よりはじまったこの制度ですが、色々で見直す時期にきていると思います。以下問題を考えてみました。

- 1. 受講する教員の負担があまりにも大きい。
- 2. 「10年研修」があるので実質的には免許更新講習と一体化させ統合させる方が運用上合理的。
- 3. 開設にあたり、講師確保・会場確保が困難をきわめる。
- 4. 10年の期限と免許更新制のリスクが、教員を目指す者にとって障害となる。

同じように子ども達に携わる仕事なのに保育士にはこのような制度がありません。どうしてこうも違うのでしょうか？甚だ疑問を感じているのは私だけでしょうか？制度を再考する必要があるのではないのでしょうか。

「免許状更新講習」「免許状更新講習免除」の申請について

＊詳細につきましては、必ず神奈川県教育委員会のホームページをご確認ください。
＊神奈川県以外の園にお勤めの方は、お勤めの園の都道府県のホームページをご覧ください。

申請書類の入手方法

インターネットで「神奈川県教育委員会」を検索してください。
「神奈川県教育委員会ホームページ」
①「採用・教員免許」→「教員免許」をクリック
②「教員免許に関する各種申請」→「教員免許を更新したい」「免許更新」をクリック
③「手続に必要な書類等を確認したい方へ」
→「神奈川県内の学校に勤務する現職教員等の方」[現職教員等向け]をクリック
④「3 申請に必要な書類等」→「(1)申請書」から該当する様式をダウンロード

申請に必要な物

①該当する「申請書」
②免許状更新講習修了(履修)証明書(更新講習を受講した方のみ、園長等免除対象者は不要)
③お持ちの教員免許状すべての原本(コピーの場合は第3号様式3の証明者の証明のあるもの)又は授与証明書(授与権者が発行した原本)が必要です。
幼稚園教諭免許状の1種と2種持参の場合、両方必要・その他教員免許のある方は全てお持ちください。
④「神奈川県収入証紙」3,300円分
⑤「宛先を明記し82円分の切手を貼付した定形の封筒」を御持参ください。
(郵送での受け取りを御希望の場合)
＊免許状や証明書の氏名・本籍地に変更がある場合は、学校長が証明した履歴事項変更確認書又は戸籍抄本(異動の履歴が確認できるもの・コピーは不可)が必要です。

注意事項

＊毎年2月から4月初旬までは、更新等の申請受付はできません。
(なお、2月から3月に申請できる方がいらっしゃいますので、詳しくはお問い合わせください。)
＊本人または園の管理職(園長等)が神奈川県教育委員会で申請手続きを行ってください。
(一般職員が、他者の申請手続きをすることはできません。)
＊神奈川県内の園に勤務している方は、「神奈川県教育委員会」に申請します。
＊申請書には園長の公印による証明が必要なものがありますので御注意ください。
＊申請をされてから各種証明書の発行までには約1ヶ月かかります。
＊郵送での手続きはできません。

場所

神奈川県教育委員会教育局教職員企画課免許グループ
横浜市中区日本通33 神奈川県住宅供給公社ビル3F TEL 045(210)8140
[受付時間] 平日9:00～11:30・13:00～16:00
(土日祝日、12/29～1/3を除く・2月～4月初旬受付停止期間)
★「神奈川県収入証紙」は、事前に用意してから、手続きをしてください。最寄りの警察署内交通安全協会または県庁新庁舎地下売店等で購入できます。その他でも販売しておりますので、ホームページをご覧ください。

小さなお客様に、大きな安心を。
三菱ふそう 小型バス
ローザ 幼児車



神奈川三菱ふそう自動車販売株式会社 TEL: 045-414-2530

平成30年度 神奈川県連合会加盟園数・園児数				
協会名	園数	園児数	前年度園児数	前年度比
公益社団法人横浜市幼稚園協会	256	47,020	47,022	— 2
公益社団法人川崎市幼稚園協会	84	19,932	20,526	— 594
横須賀市私立幼稚園協会	30	4,209	4,407	— 198
特定非営利活動法人藤沢市私立幼稚園協会	29	6,041	6,176	— 135
鎌倉私立幼稚園協会	22	2,981	2,978	3
茅ヶ崎市私立幼稚園協会	15	2,923	3,087	— 164
湘央地区私立幼稚園協会	41	6,435	6,363	72
小田原私立幼稚園協会	12	1,302	1,347	— 45
相和私立幼稚園協会	27	4,695	4,895	— 200
一般社団法人相模原市幼稚園・認定こども園協会	45	8,281	7,490	791
逗葉私立幼稚園協会	5	584	580	— 4
厚木地区私立幼稚園協会	20	3,005	3,003	— 2
計	586	107,408	107,874	— 466

県連設立 1948年(昭和23年)

編集後記
サッカーW杯ロシア大会は、日本代表の予想以上の活躍に大きな盛り上がりを見せました。とりわけ予選リーグ最終のポーランド戦では、最後の10分間の守備的な戦術に対し賛否両論いろいろな意見がありました。与えられたルールの下、様々な選択肢がある中で、自らが次に進むために最善と思われる術を選ぶ。西野監督の勇気ある決断だったと思います。私たち幼稚

園経営者も今、大きな混乱の中で選択を強いられています。それぞれに肚をすえて状況判断をし、決断していきましょう。
先般の神奈川県民ホール「第58回教育研究全県大会／設立70周年記念大会」、お疲れ様でした。若手後継者の先生方は100周年を目指し、今後も力を合わせて頑張ってください。
(広報室員 吉村文比古)